

KNOCK OUT アマチュアルール

【クラス A トーナメント：プロ戦績 3 戦以内】

＜ジュニア＞

時間：2分1ラウンド（延長2分1ラウンド）※マスト判定

＜アダルト 男子＞

時間：3分1ラウンド（延長2分1ラウンド）※マスト判定

＜アダルト 女子＞

時間：2分1ラウンド（延長2分1ラウンド）※マスト判定

防具：12onz グローブ・フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ（男性）・アブスマントガード（女性）

首相撲：無制限、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ：キャッチから1歩以内の攻撃有効

【ワンマッチ】

＜高校生／大学生／アダルト＞

▶クラス A：プロ戦績 3 戦以内

時間：2分2ラウンド（延長戦なし）

防具：12onz グローブ・フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ（男性）・アブスマントガード（女性）

首相撲：無制限、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ：キャッチから1歩以内の攻撃有効

▶クラス B

時間：90秒2ラウンド（延長戦なし）

防具：16onz グローブ・フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ（男性）・アブスマントガード（女性）

首相撲：無制限、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ：キャッチから1歩以内の攻撃有効

▶クラス C

時間：2分1ラウンド（延長戦なし）

防具：16onz グローブ・フルフェイス型ヘッドギア・ボディプロテクター・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ（男性）・アブスマントガード（女性）

首相撲：無制限、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ：キャッチから1歩以内の攻撃有効

＜中学生以下＞

▶クラス A

時間：2分2ラウンド（延長戦なし）

防具：12onz グローブ、フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ（男性）・アブスマントガード（女性）

首相撲：無制限、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ：キャッチから1歩以内の攻撃有効

▶クラス B

時間：90秒2ラウンド（延長戦なし）

防具：12onz グローブ・フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ（男性）・アブスマントガード（女性）

首相撲：無制限、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ：キャッチから1歩以内の攻撃有効

▶クラス C

時間：2分1ラウンド（延長戦なし）

防具：12oz グローブ・フルフェイス型ヘッドギア・ボディプロテクター・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・

ファウルカップ（男性）・アブスマントガード（女性）

首相撲：無制限、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ：キャッチから1歩以内の攻撃有効

【全クラス共通ルール】

反則技：頭突きや肘打ちなど拳と足とヒザ（顔面以外）以外の打撃、目つぶし、下腹部急所への攻撃、投げ、タックル、攻撃を伴わない組みつき（ホールディング）、関節技、絞め技、倒れた相手への攻撃、レフェリーの制止後の攻撃、故意に後ろを向くこと、顔面ヒザ蹴り。

レフェリーの注意、警告の後減点1、減点2回目は、反則負けとなる。反則内容によっては、即時減点、反則負けとなる場合もある。

勝敗：1ラウンド1選手持点10点の減点制。有効打の的確度、相手へのダメージ、積極性を有効ポイントとし、判定、KO（1ラウンド2度のダウンで終了）、TKO（レフェリーストップ）で勝敗を決める。ダウンは、2ポイント。攻勢点は、1ポイント。

防具：布製レッグガード、布製ニーパット、マウスピース、ファウルカップ（男性）、アブスマントガード（女性）は、衛生管理上貸出しません。各自でご用意ください。

服装：上着は必ずキックパンツの中に入れること。金具、ポケットのついた試合着は禁止。長そでのTシャツ、長そでのラッシュガードの着用は禁止。Tシャツか半そでのラッシュガードを着用のこと。攻撃が相手の上着に引っ掛かることが多いので、半そでのラッシュガードを推奨します。所属ジムやチームの名称が明記されたものをできるだけ着用してください。

セコンド：1名までセコンドスペースへ立ち入ることが可能。

注意：足裏の滑り止め（スプレー、松脂粉末など）の塗布禁止。自分の試合前に速やかに防具を装着し待機すること。計量オーバーの場合、1時間以内の再計量で不合格なら失格となり出場費没収。審判への暴言、判定やレフェリングへの抗議は、一切禁止。その他、スポーツマンシップに反する行為は、失格、退場になる場合あり。

保険：出場選手全員、スポーツ安全保険に加入していることを義務付けます。

心得：試合を通じて心身の交流と成長を図り、選手、セコンド、関係者一同、スポーツマンシップに則り正々堂々と闘うこと。